

さいたま市教組新聞

人事院 3万円の官民較差を無視 県人事委員会は特例減額を踏まえて改定せよ

国家公務員の給与にかかわって、人事院は59年ぶりの勧告なし、報告のみという異常な事態になりました。報告では、
○官民の給与を調査し、較差は76円(0.02%)で改定なし
○ボーナスの比較では官民ともに3.95月で差はなく改定なし
人事院は、国家公務員給与が毎月7.8%減額されているにもかかわらず、減額前の給与で民間との比較を行い、差がないとしています。減額後の給与と比較すると7.78%、2万9282円民間給与より低いことが明らかになっています。約3万円の差があることを無視しています。
また、一時金は「賃下げ法」によって一律9.77%の削減が行われていて、実際の支給月数は3.56月になると人事院は算定しています。
県職員・教職員の給与の勧告はこれからです。県人事委員会は県職員・教職員の給与が7.8%



減額実施日	校長削減額	教頭削減額	教諭削減額
減額前の退職金(円)	31,840,733	30,407,976	26,381,782
第一次2013年2月1日	170万	164万	153万
第二次2013年11月1日	340万	328万	305万
第三次2014年8月1日	481万	465万	432万

減額されている事実を踏まえ、改善の勧告を出すことを強く求めます。
特に強調すべきは、公務員の退職金が段階的に400万円以上削減され

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2013.9.27(金)
No. 204

るといふ事実です。仕事量は増えている中で、人員の削減、給与の削減、退職金の削減、ではモチベーションは下がる一方です。
地公労3組日は(真職・埼教組・埼高教)は人事委員会宛の要請署名に取り組んでいます。

教研集会教科別分科会開く



さいたま市教育研究集会実行委員会主催の教育研究集会が、8月31日、武蔵浦和駅近くの武蔵浦和コミセンで開かれました。算数、国語、社会、理科、そして子どもの心と体の5分科会で、レポート報告を受けて、活発な意見交換と交流が行われ

れました。現場の教職員、他、学童保育の指導員、保護者、市民が参加し、子どもたちの学びと、さいたま市の学校教育について活発な意見交換がされました。
問題別分科会と記念講演が、10月12日、桜木中学校を会場にして開かれます。
実行委員会は、さいたま市の教育について多くの市民と意見交換したいとして、市民の参加を呼びかけています。

不当な高校教科書採択への政治的介入

埼玉県議会の文教委員会(田村琢実委員長、見沼区選出・自民党)は、閉会中にもかかわらず委員会を開会し、県立高校8校で実教出版の教科書を申請し、県教委が採択したことに対し、委員会に校長を呼び出し、質疑を強行、採択の見直しを迫りました。

出された8校の校長は「文部科学省の教科書検定を受けた(合格)教科書」であると答弁しました。県教委の清水松代委員長は再考はしない、と毅然とした対応をしました。しかし、19日の教育委員会定例会で、清水教育委員長は、教科書問題を受けて辞意を表明し、24日の教育委員会です承されました。

文教出版の高校日本史教科書に、日の丸・君が代に関する

教科書採択の手順に従って採択された教科書に難癖を付け、政治的な介入をした自民をはじめとした県会議員に対し、厳しい批判の



「一部の自治体で強制的動きがある」という記述がある
東京をはじめ、大阪、神奈川でも教科書採択にかかわっての政治的な介入や、学校の教育課程への教育行政の介入が行われています。教育への不当な介入は絶対に許してはなりません。